



2022年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2021年7月30日（金）

ウェーブブロックホールディングス株式会社
証券コード：7940
（東証一部）

■ 売上高 5,760百万円

- 前年同期比△25.7%ではあるが、前年同期実績からインテリア事業を連結対象外とした売上高（参考値）5,675百万円に対して+1.5%
- アドバンステクノロジー事業における自動車向け販売が好調に推移
- 上期計画への進捗率は54.3%

■ 営業利益 424百万円

- 前年同期比△36.1%ではあるが、前年同期実績からインテリア事業を連結対象外とした営業利益（参考値）445百万円に対して△4.8%
- 高付加価値製品を扱うアドバンステクノロジー事業の自動車向け販売が好調も、マテリアルソリューション事業のホームセンター向け販売は低調
- **上期営業利益予想への進捗率は103.4%**となり、14百万円超過

■ 上期営業利益予想値の超過を受け、上期業績予想および通期業績予想を上方修正

(単位：百万円)

	2021年 3月期 第1四半期 (実績) ¹	2022年 3月期 第1四半期 (実績)	前年同期比 増減率	6/10公表 上期予想	上期予想比 進捗率
売上高	7,756	5,760	△25.7%	10,600	54.3%
営業利益	664	424	△36.1%	410	103.4%
経常利益	657	536	△18.4%	550	97.5%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	448	374	△16.6%	380	98.5%
1株あたり 当期純利益 (円) ²	46.52	38.26	-	-	-

上期業績予想
および
通期業績予想
を修正

- 2021年3月期第1四半期（実績）は、2021年3月に（株）サンゲツへ譲渡したインテリア事業を連結した実績値
- 発行済株式総数から自己株式等を控除した期中平均株式数により算出。期中平均株式数は、2021年3月期第1四半期は9,649,909株、2022年3月期第1四半期は9,785,849株

セグメント別情報

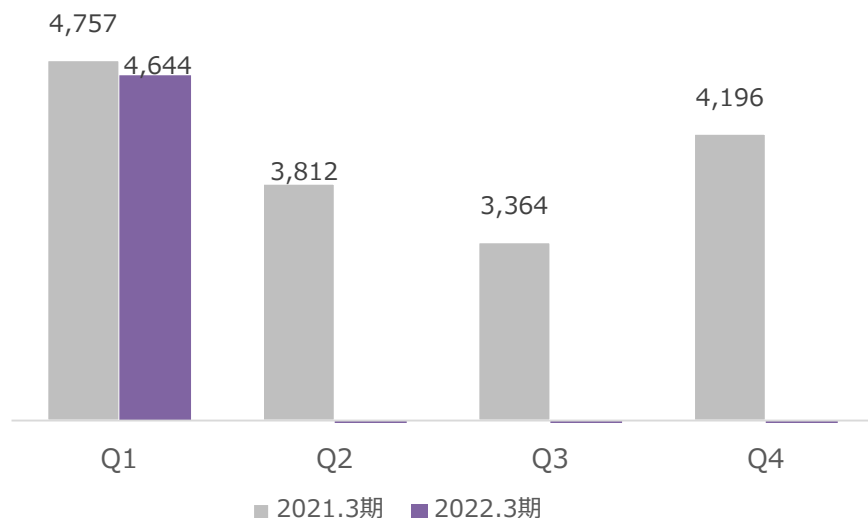
(単位：百万円)

	2021年3月期 第1四半期 (参考値)*	2022年3月期 第1四半期 (実績)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	5,675	5,760	+84	+1.5%
マテリアルソリューション	4,757	4,644	△ 113	△2.4%
アドバンステクノロジー	934	1,121	+186	+19.9%
その他	△16	△ 5	-	-
営業利益	445	424	△ 21	△4.8%
マテリアルソリューション	594	515	△ 79	△13.3%
アドバンステクノロジー	3	86	+82	+2,664.6%
その他	△152	△ 177	-	-

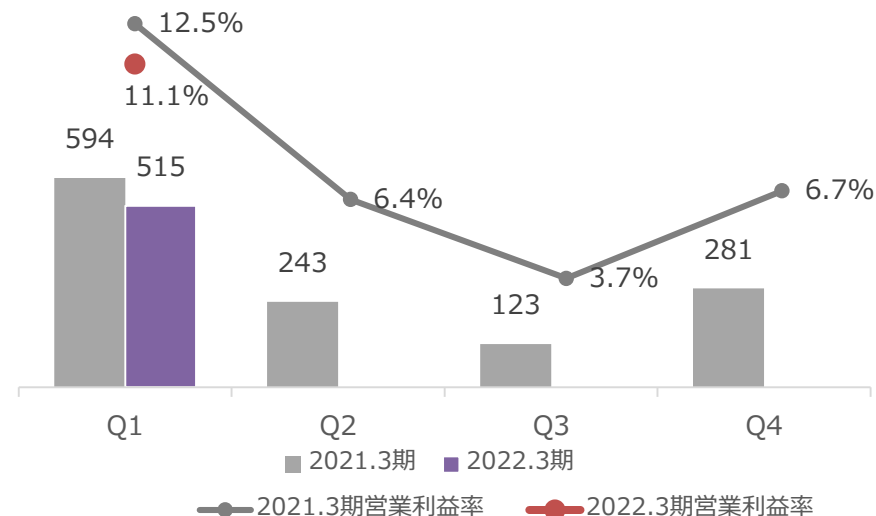
※2021年3月期第1四半期（参考値）の連結売上高および連結営業利益は、2021年3月に（株）サンゲツへ譲渡したインテリア事業を連結から除外した参考値

単位：百万円

売上高



営業利益・営業利益率



リビングソリューション：

- 張替用防虫網は、販売先であるホームセンターの客足鈍化や前期好調の反動減により5月以降停滞し前年同期比大幅減。サッシメーカー向け販売も学校向け網戸設置が落ち着き低調

ビルディングソリューションおよびインダストリアルソリューション：

- 新型コロナウイルス感染拡大により前期低調だった建設・仮設工事関連向けは回復傾向。オリンピック関連やワクチン接種会場向けフロアシート需要、防煙垂壁設置案件の取り込みに注力
- 原材料価格上昇に伴い、7月から取り扱い製品値上げ実施に向けて対応

パッケージングソリューション：

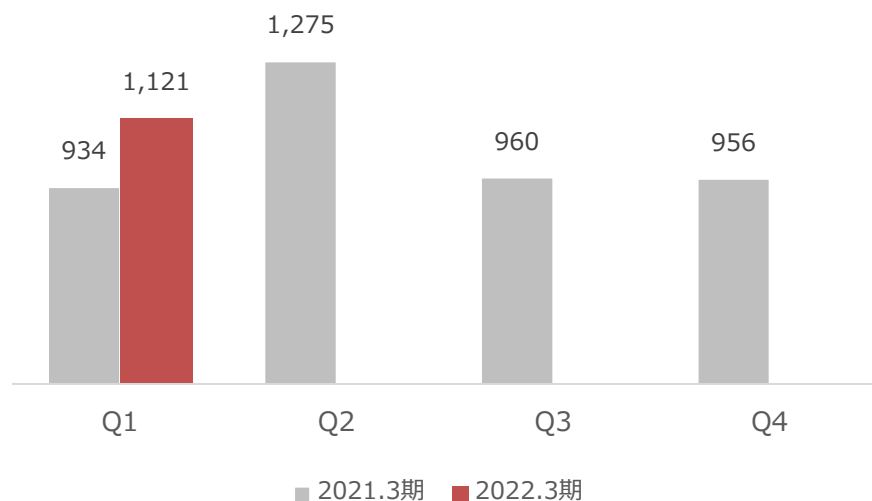
- 主要取引先との連携および製造体制強化の取り組みにより売上高・利益ともに前年同期比増加。中食需要拡大による食品容器販売や健康志向の高まりによるヨーグルト容器向け販売は好調を維持

アグリソリューション：

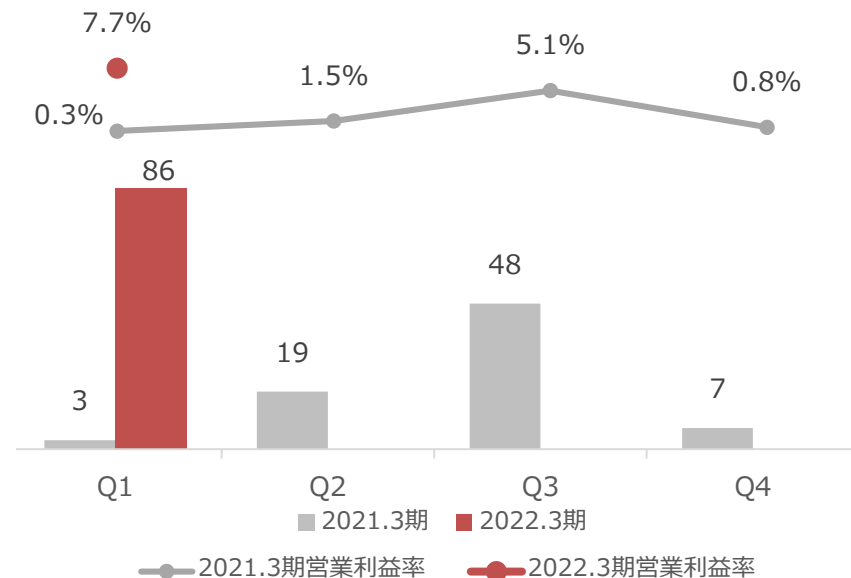
- 国内農業生産者の資材への投資意欲は回復の兆し。新たな顧客取り込みにより売上高は前年同期比プラスで推移

単位：百万円

売上高



営業利益・営業利益率



金属調加飾フィルム：

- 国内自動車メーカー小型SUV向けドアハンドル販売の好調や、ロックダウン明けのインド・東南アジアにおける2輪車向け販売の復調、北米自動車メーカー向け新規案件の立ち上げにより売上高・利益ともに前年同期比大幅増加。中国自動車向け販売は採用車種の生産調整により低調に推移するも、今後回復見込み。半導体不足の影響は受注案件拡大によりカバー
- 今後、インド・東南アジアではコロナウイルス感染再拡大の影響が懸念されるものの、その他マーケットでは順調に推移する見込み

PMMA/PC2層シート：

- 自動車向け内装ディスプレイ用途は、新規案件の立ち上げや既存案件の横展開により好調。半導体不足の影響は受注案件拡大によりカバーし、今後もおおむね堅調な推移が見込まれる

その他：

- ディスプレイ用拡散板は前年同期の特需は落ち着き、安定した数量を受注

業績予想修正と今後の見通し

修正のポイント

- アドバンステクノロジー事業の、特に金属調加飾フィルム分野における自動車向け販売が好調
- 原材料価格の上昇が見込まれるなか、第1四半期においては当初想定より上昇の影響は限定的
- これらにより6月10日発表の上期営業利益予想を第1四半期で超過したため、上期業績予想を上方修正
- それに伴い通期業績予想も上方修正するものの、下期において原材料価格上昇の影響を受けることを考慮

	6/10公表 上期予想	2022年3月期 上期予想 修正	従来予想から の増減比	6/10公表 通期予想	2022年3月期 通期予想 修正	従来予想から の増減比
売上高	10,600	10,600	-	20,400	20,400	-
営業利益	410	490	+19.5%	730	750	+2.7%
経常利益	550	640	+16.4%	1,030	1,070	+3.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	380	450	+18.4%	740	770	+4.1%

- セグメント予想は下記のとおり修正

■ マテリアルソリューション事業

- 通期売上高予想 16,300百万円→16,100百万円 (△1.2%)
- 通期営業利益予想 1,080百万円→1,070百万円 (△0.9%)

■ アドバンステクノロジー事業

- 通期売上高予想 4,100百万円→4,300百万円 (+4.9%)
- 通期営業利益予想 260百万円→290百万円 (+11.5%)

本資料における見通しは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。
本資料に記載されている内容・写真・図表等の無断転載を禁止します。